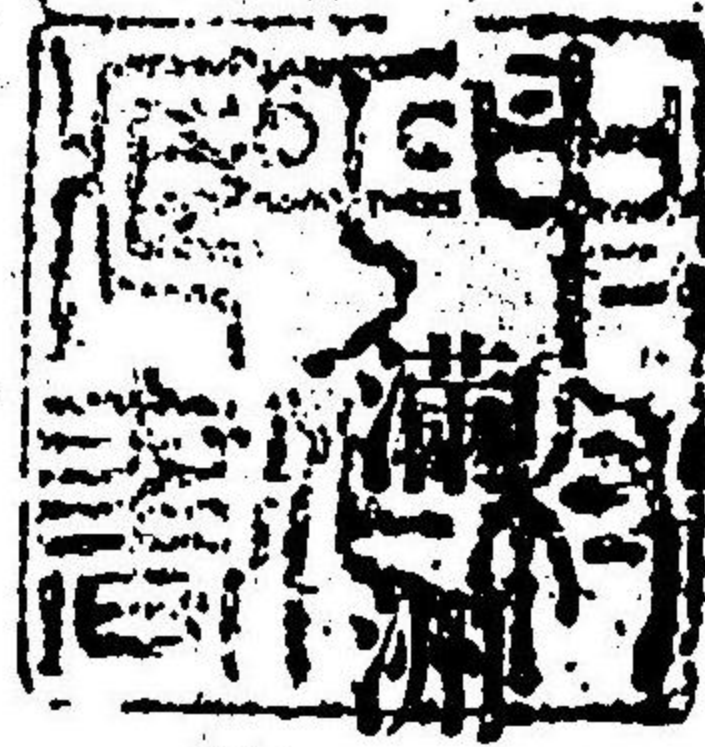


陸軍歩兵中佐守田利遠編述

滿洲地誌

附圖

東京 丸善株式會社

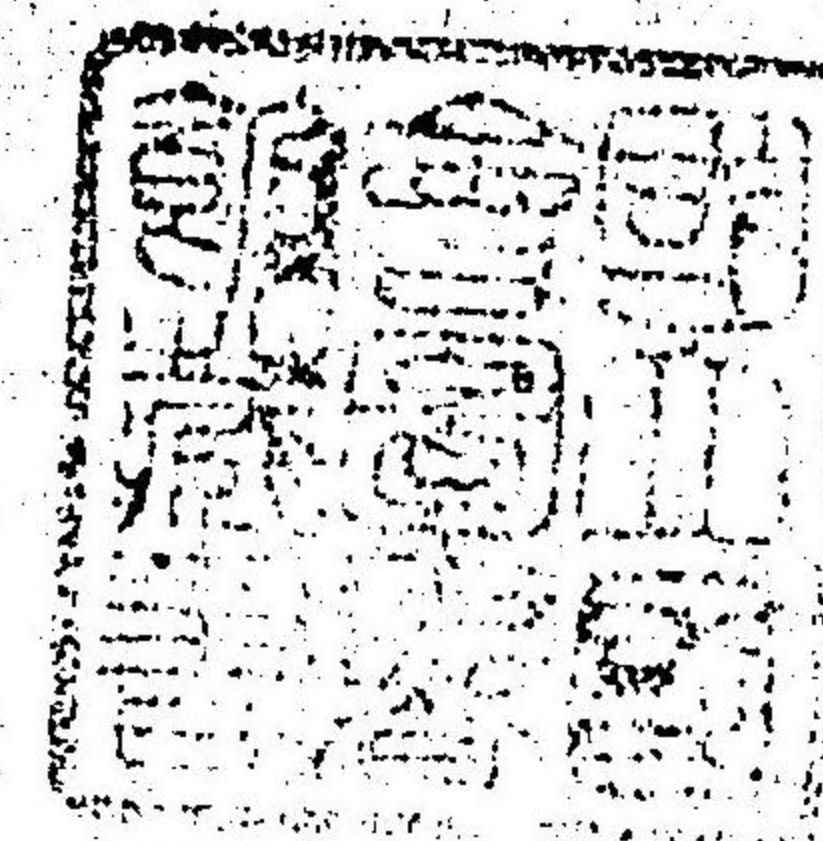


地誌

附圖目次

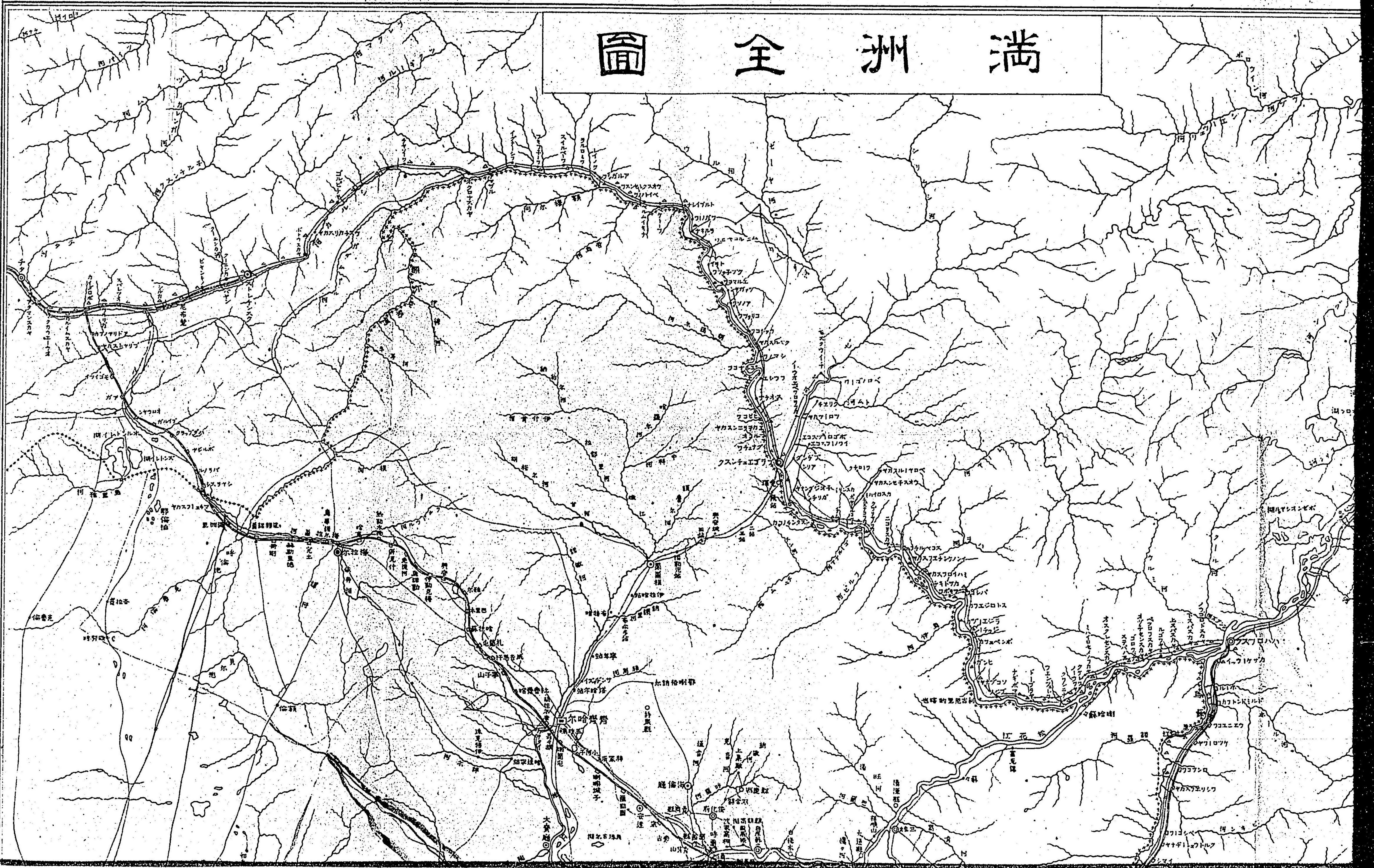
第一表	滿洲全圖
第二表	滿洲行政機關配置圖
第三表	農牧林產色別位置圖
第四表	礦產地地圖
第五表	夾皮溝金場圖
第六表	土們子金場圖
第七表	漠河金場圖
第八表	黃河金場圖
第九表	連陰金場圖
第十表	「ウステカリスカヤ」金場圖
第十一表	商業區域圖
第十二表	滿蒙及西伯利亞ニ於ケル山東移民配布圖

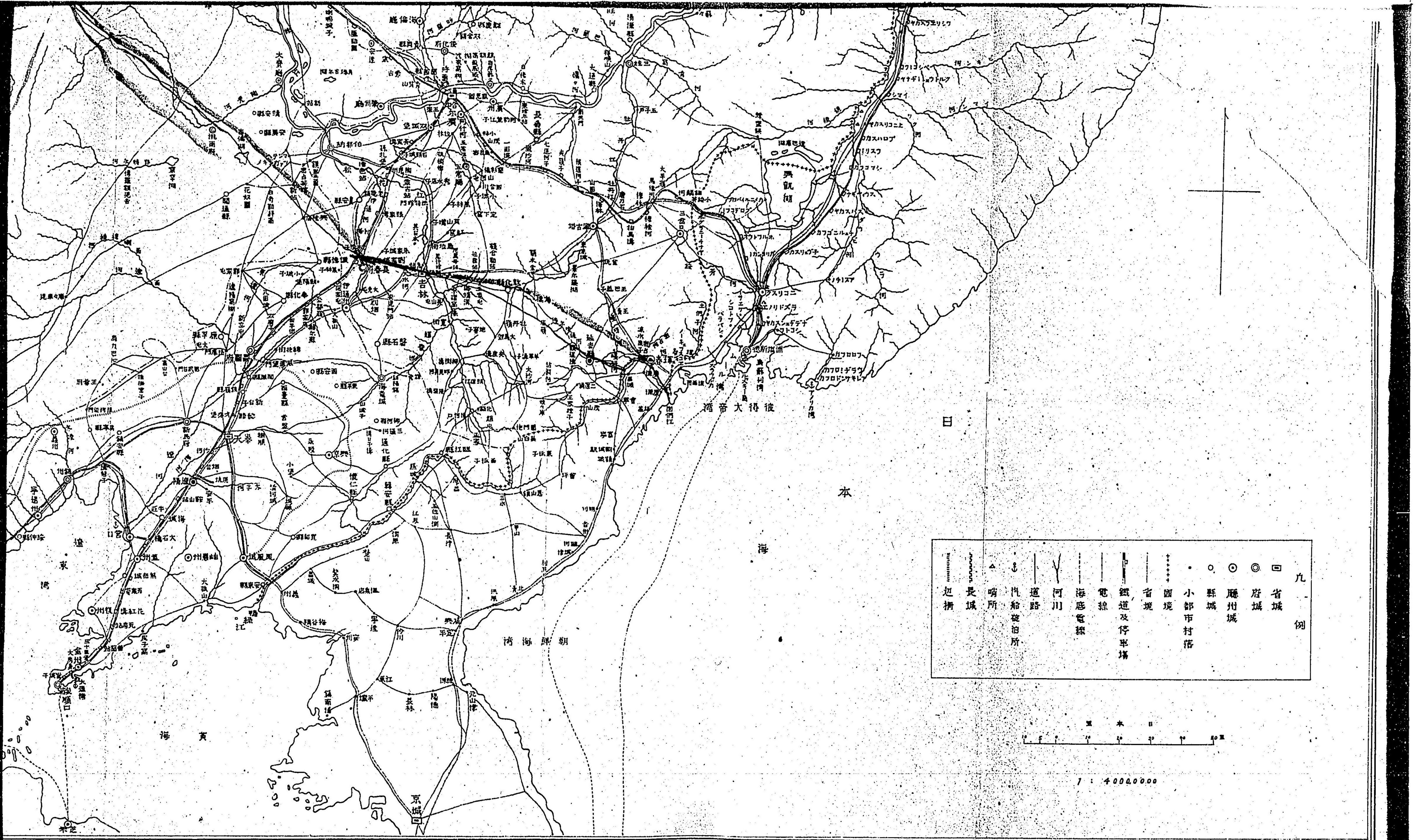
292.25
M.852m



30475

滿洲全圖

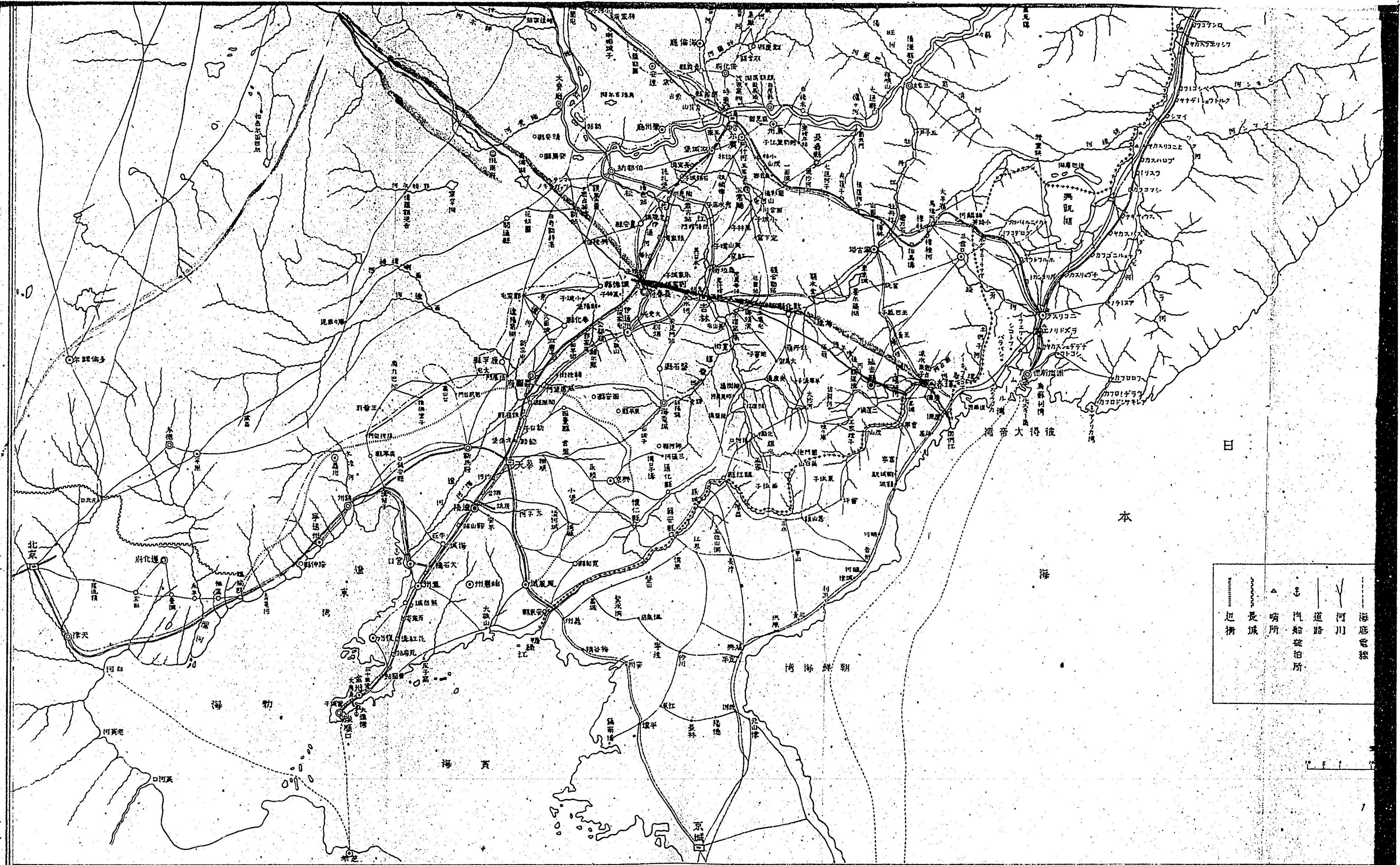




	省境		縣城		府城		省城	九 例
	小都市村落		國境		鐵道及停車場		電線	
	海底電線		河川		道路		汽船發泊所	
	長城		哨所		距離		距離	
	距離		距離		距離		距離	



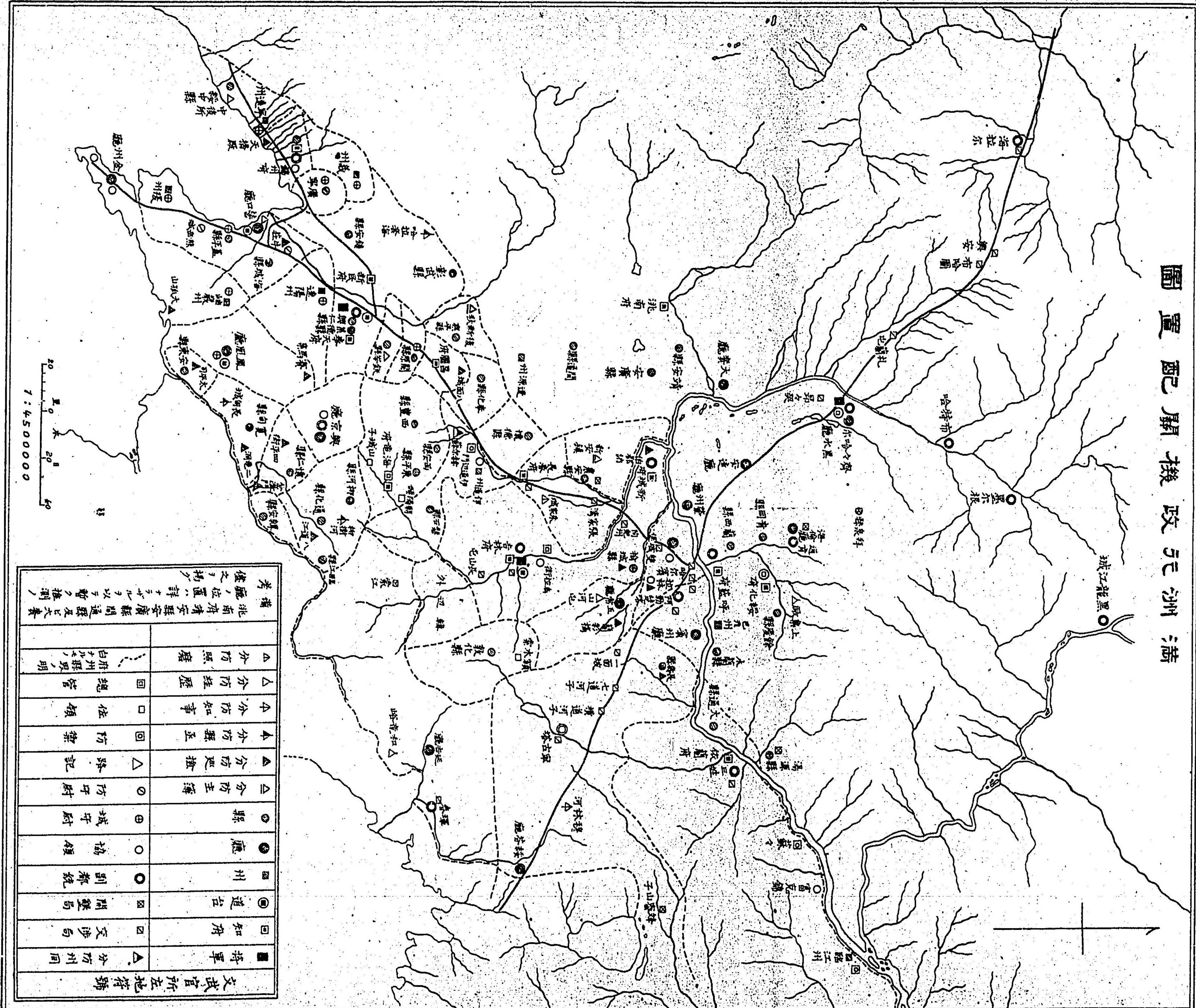
1 : 4 000 000



○	△	⚓	—	—	—
北京	天津	汽船碇泊所	道路	河川	海底電線
長城	哨所				
越嶺					

0 5 10

滿洲元政機關配置圖

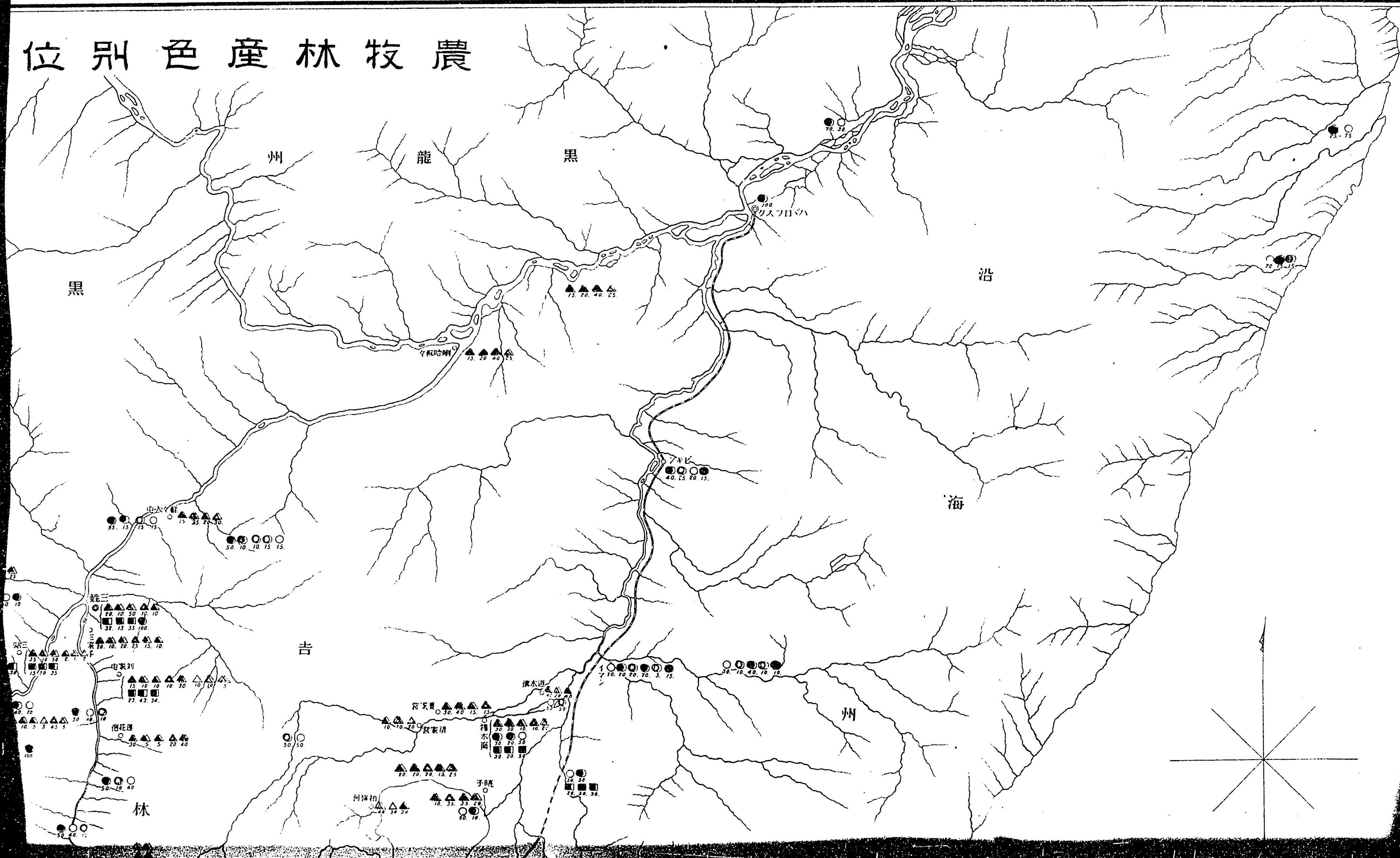


文武官所在地符號

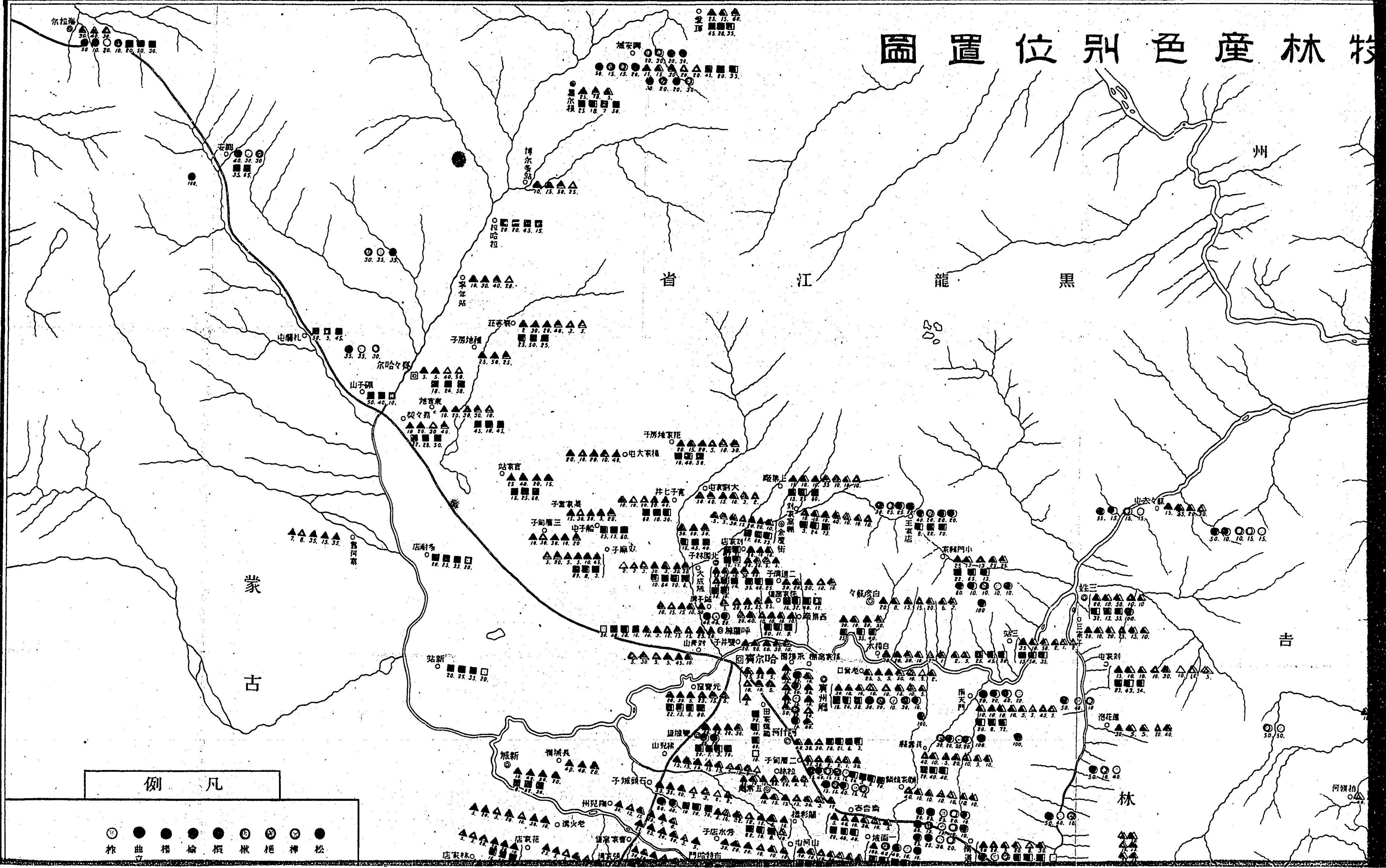
▲	分州同知	△	分防州同
□	知府	○	副都統
○	協領	○	州
●	縣	○	廳
○	城守尉	○	縣
△	分防主簿	○	分防主簿
△	分防巡檢	△	路記
△	分防縣丞	△	防禦
△	分防知事	△	總管
△	分防經歷	△	分防經歷
△	分防照磨	△	分防照磨

備註：此圖係據元史及通志等書考定，其間或有遺漏，其詳不在此圖，其詳不在此圖。

農牧林產色別位

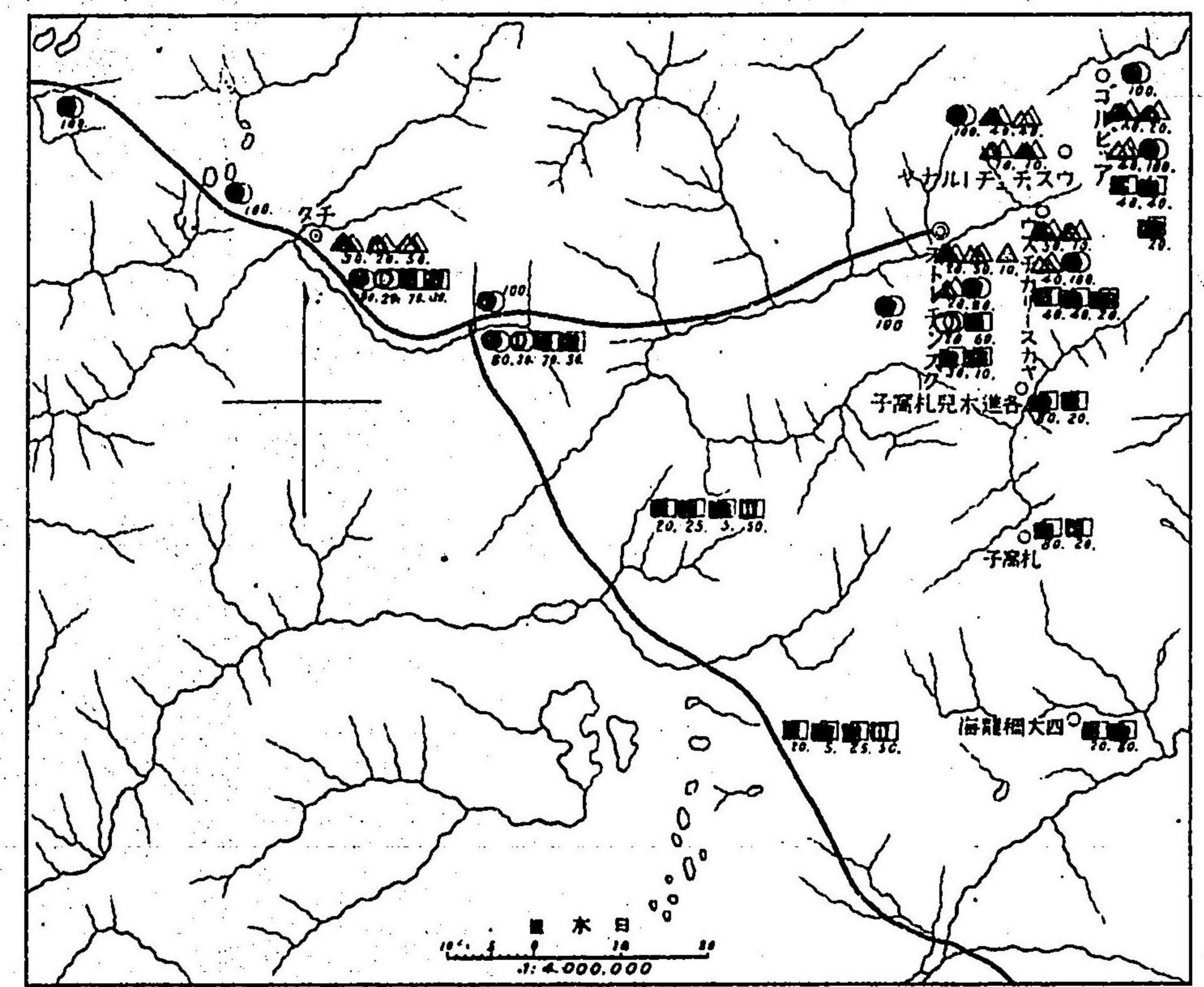
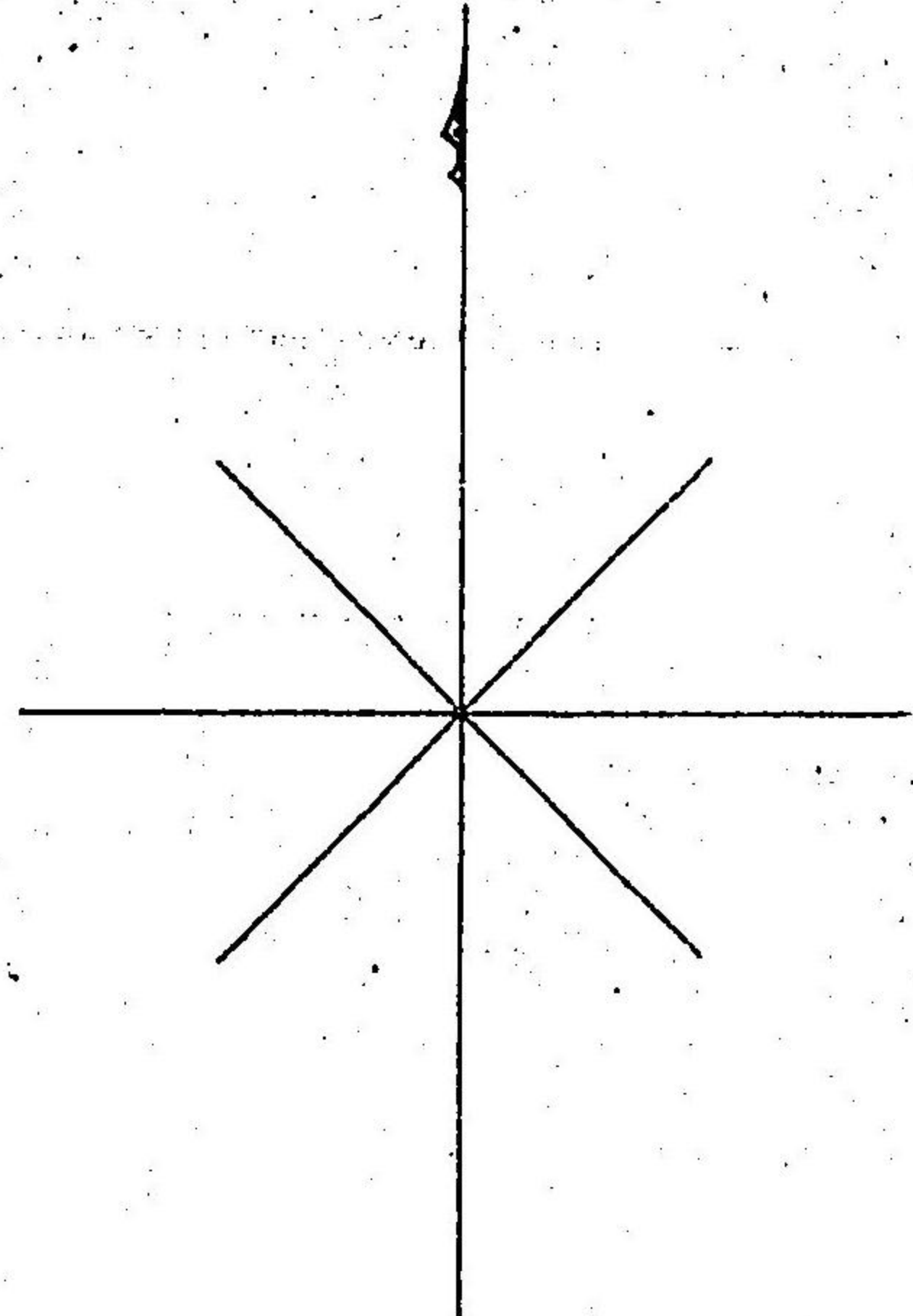
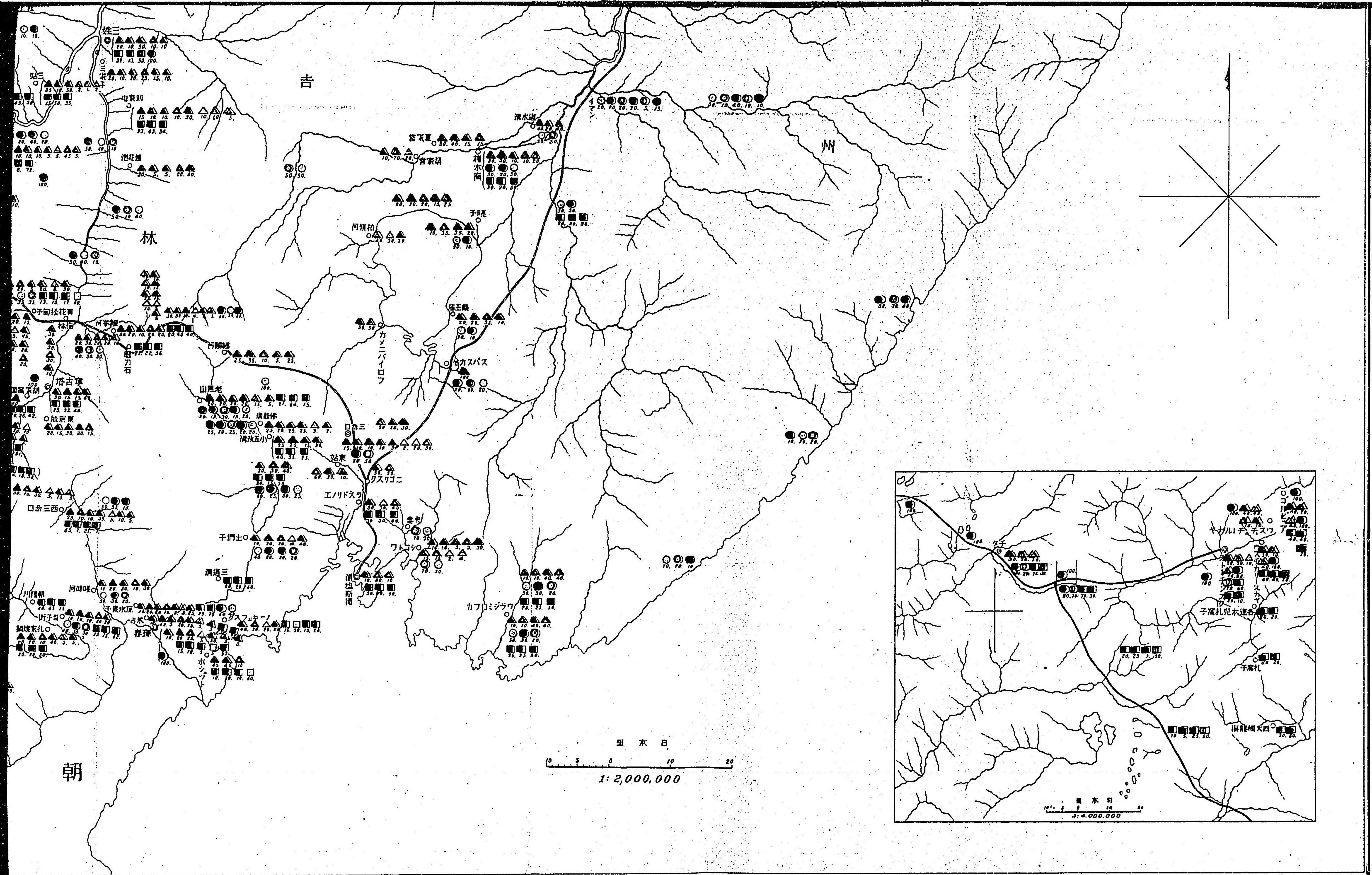


特 林 產 色 別 位 置 圖

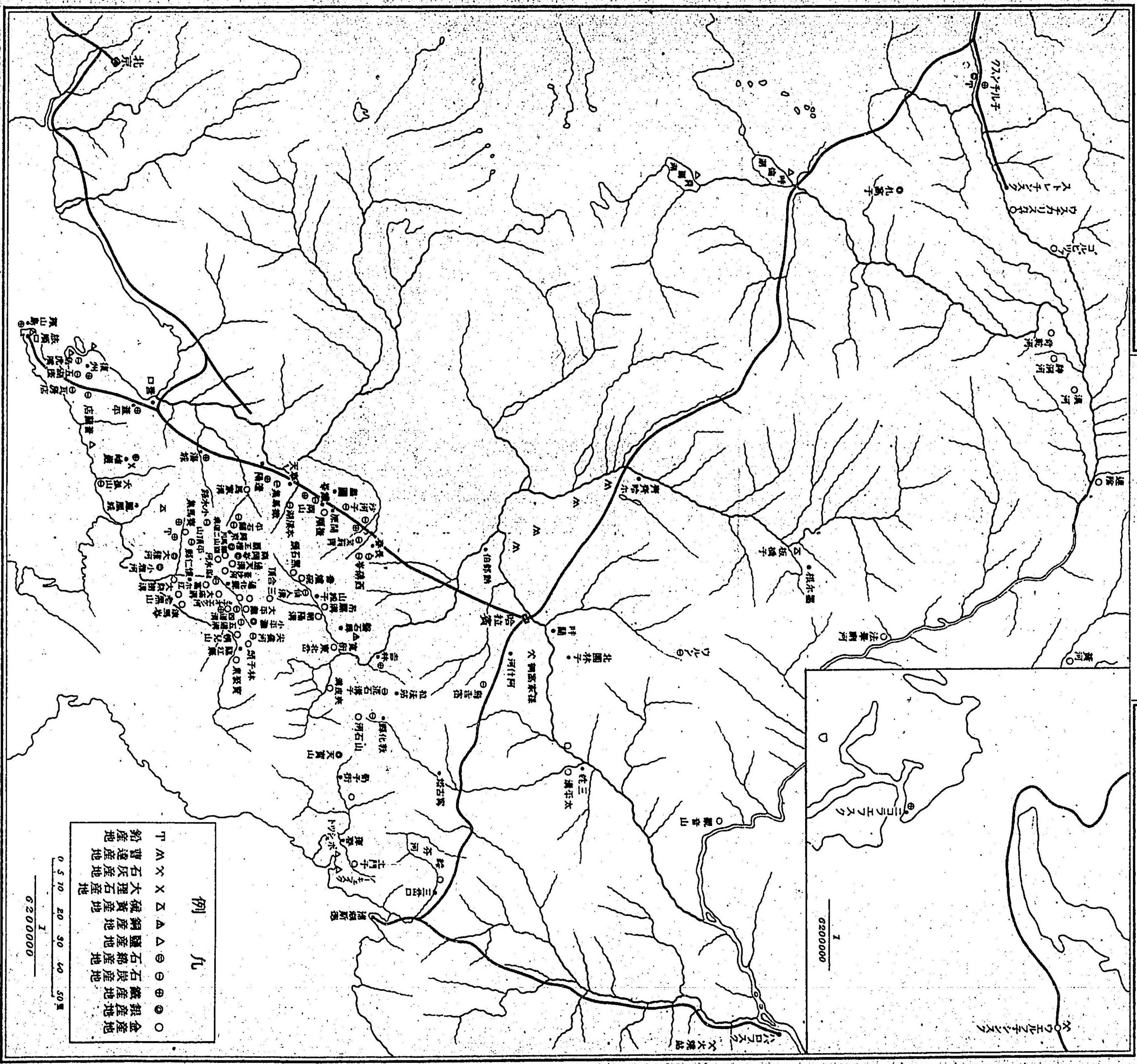


例 凡

- 松
- 柞
- ▲ 椴
- ◆ 榆
- 楊
- 曲
- 林



鑛產地圖



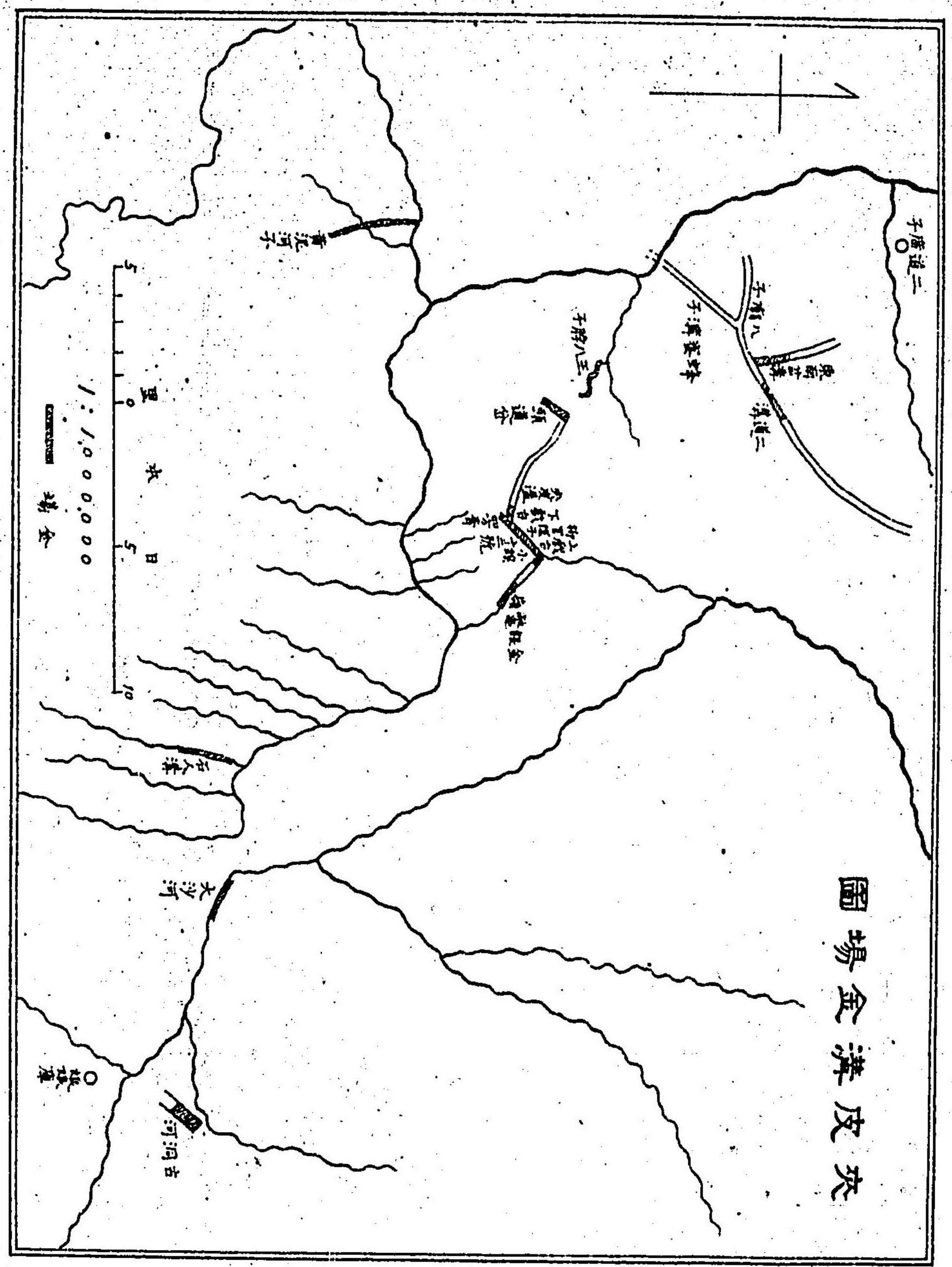
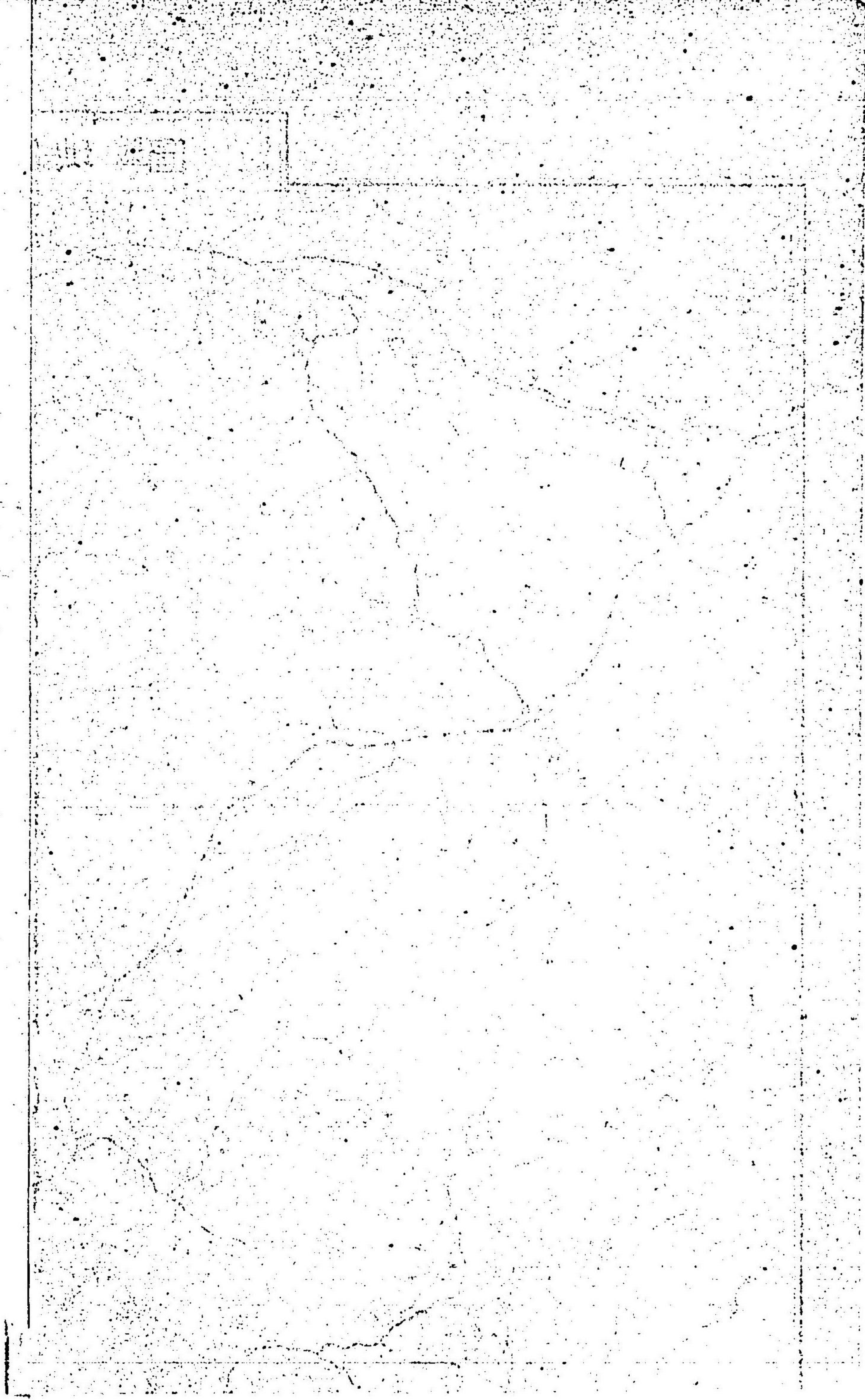
第四表

例 九

○	金產地
◎	銅產地
⊙	石炭產地
△	錫產地
▲	鐵產地
△	磷產地
×	大理石產地
×	石灰產地
△	普通產地
○	鉛產地

0 5 10 20 30 40 50 里
1
6200000

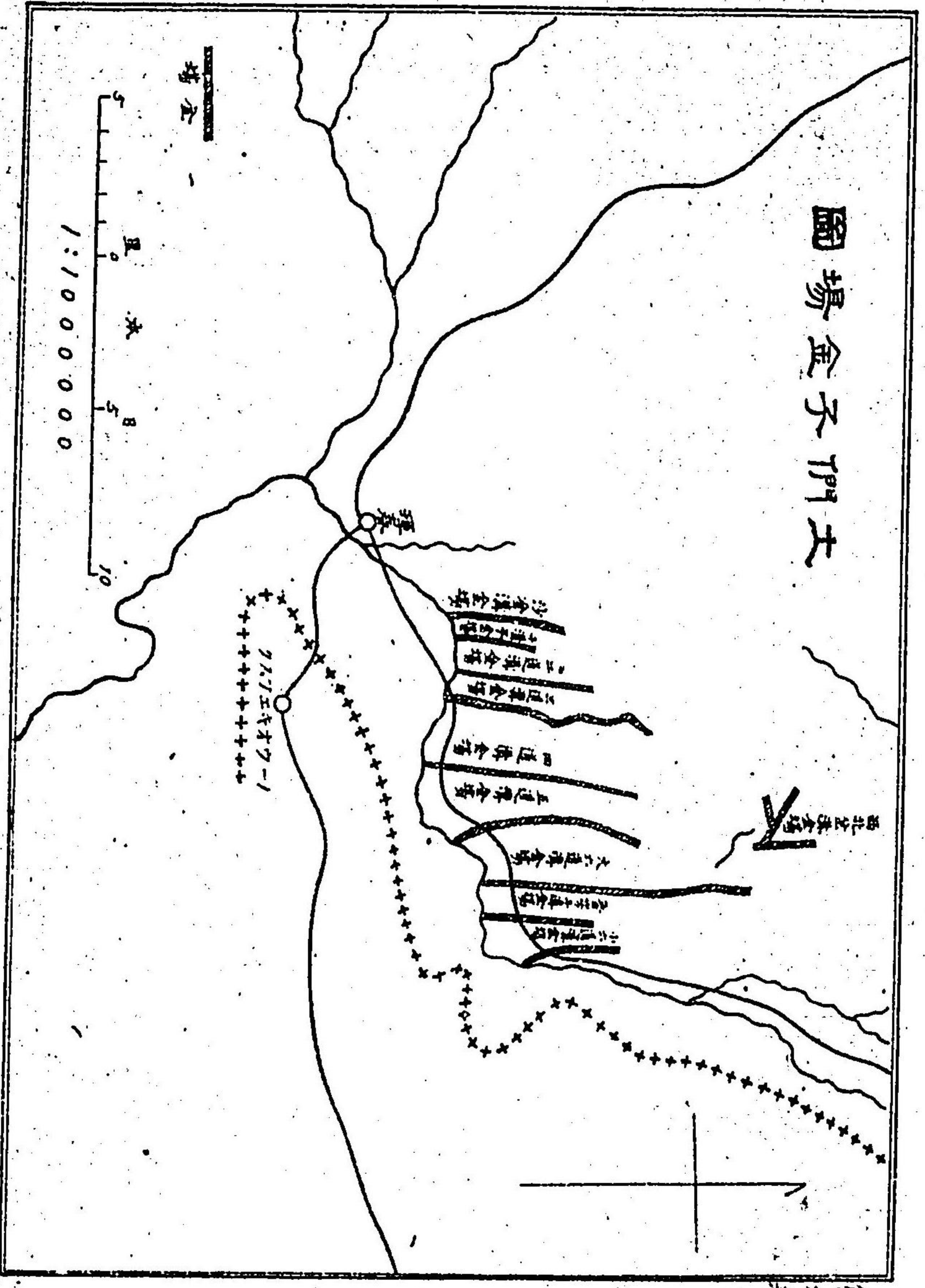
打印圖小町丁松本田澤宮



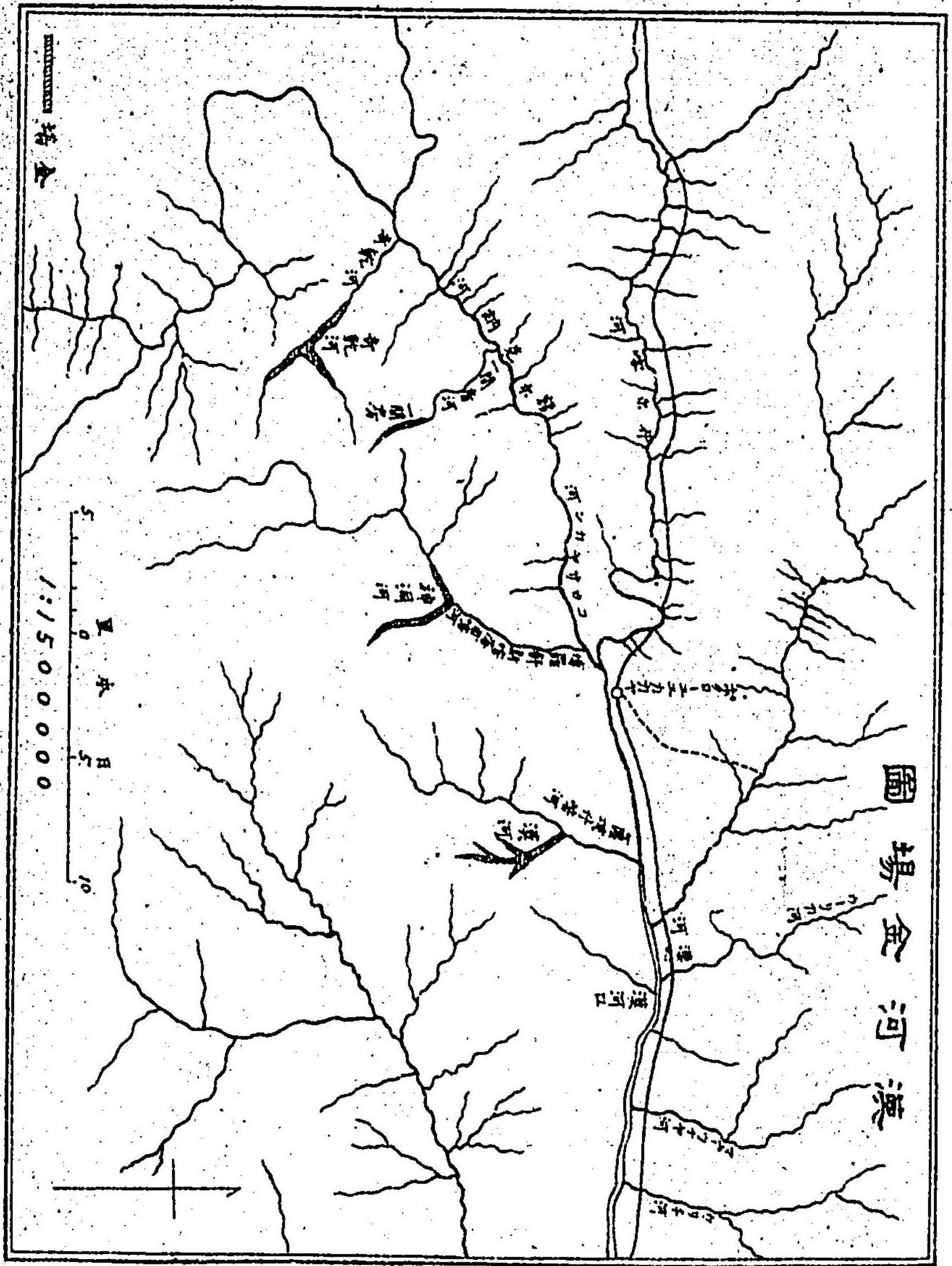
第五表



大門口金子場圖

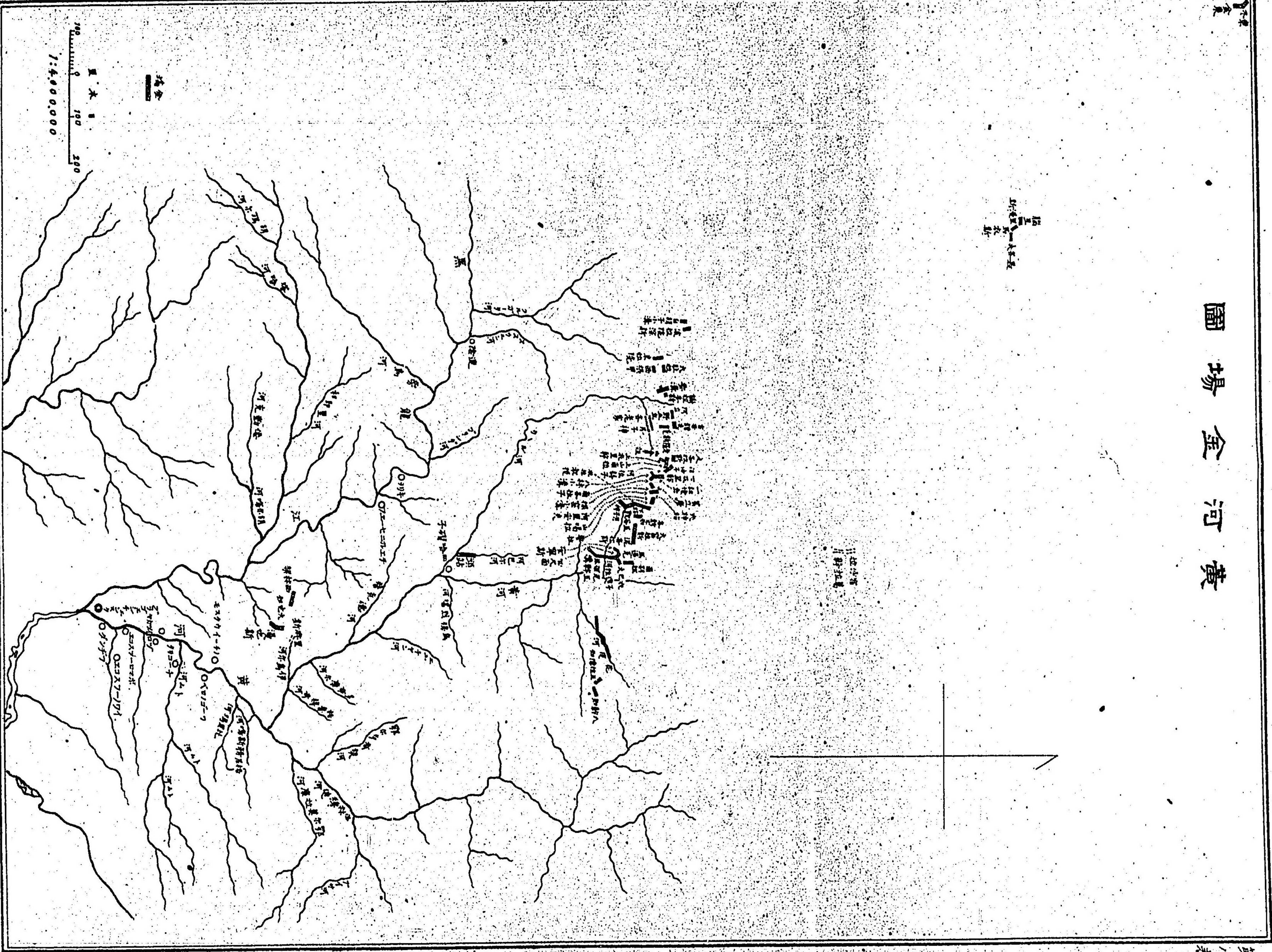


第六表



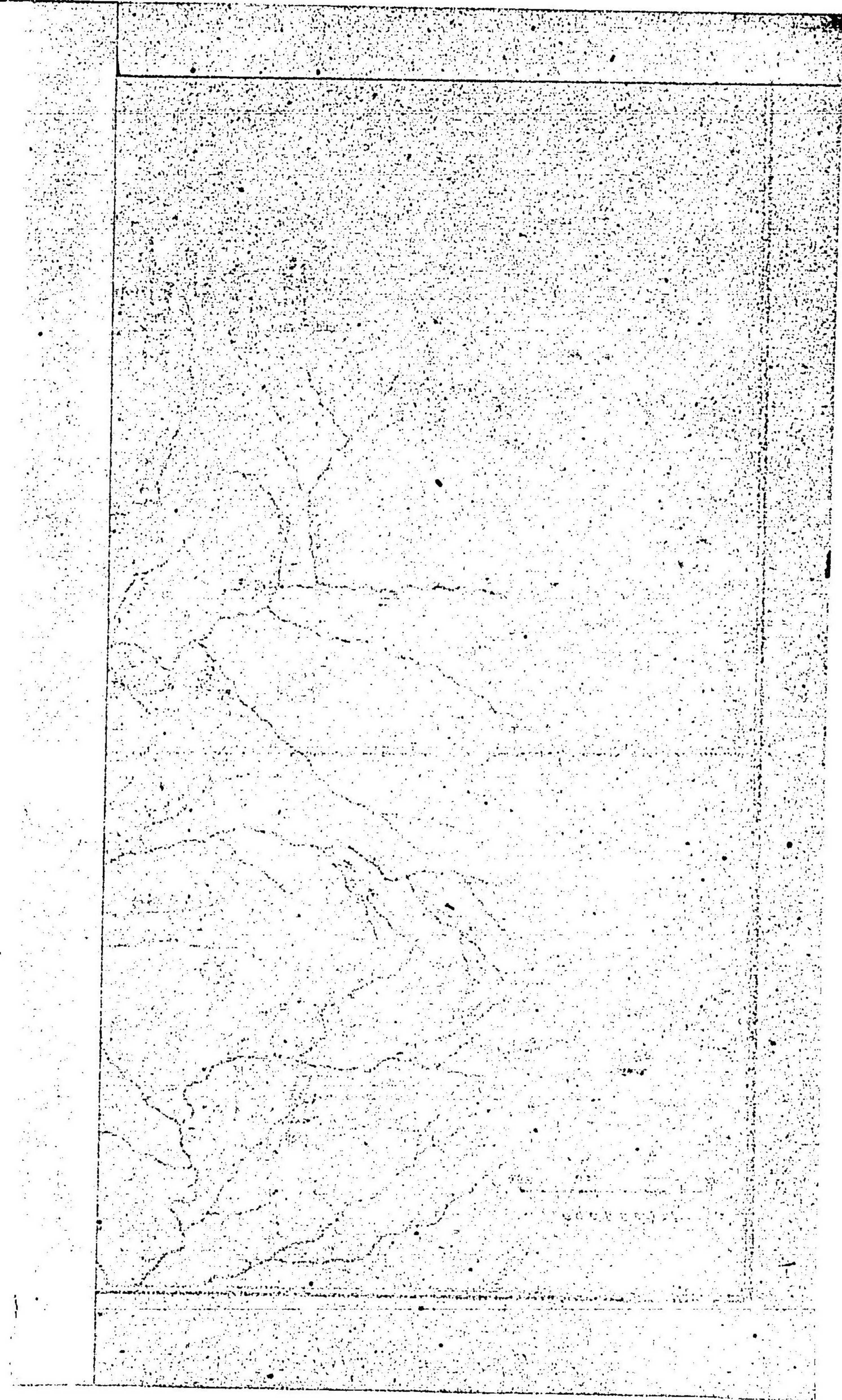
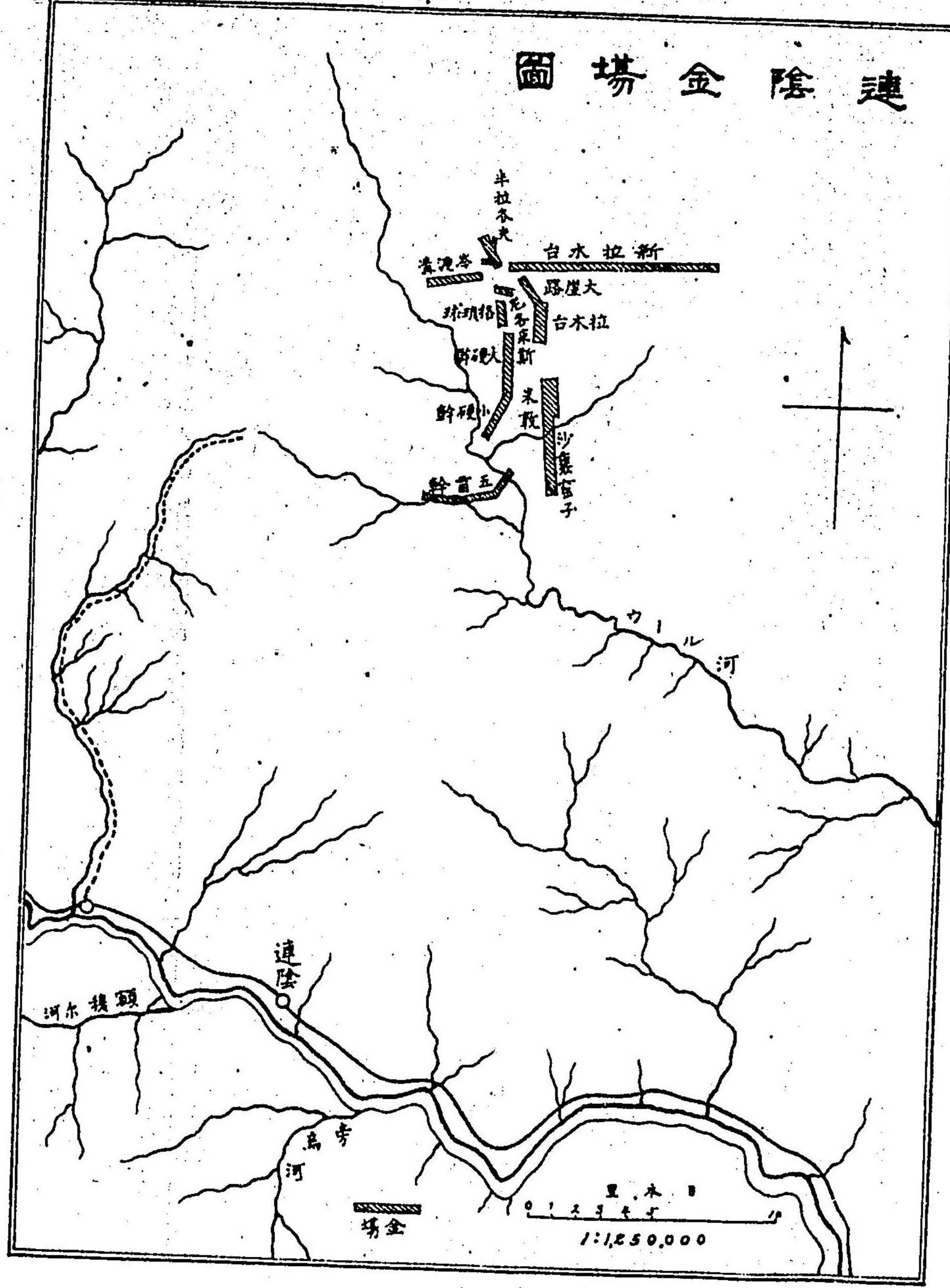
第七表

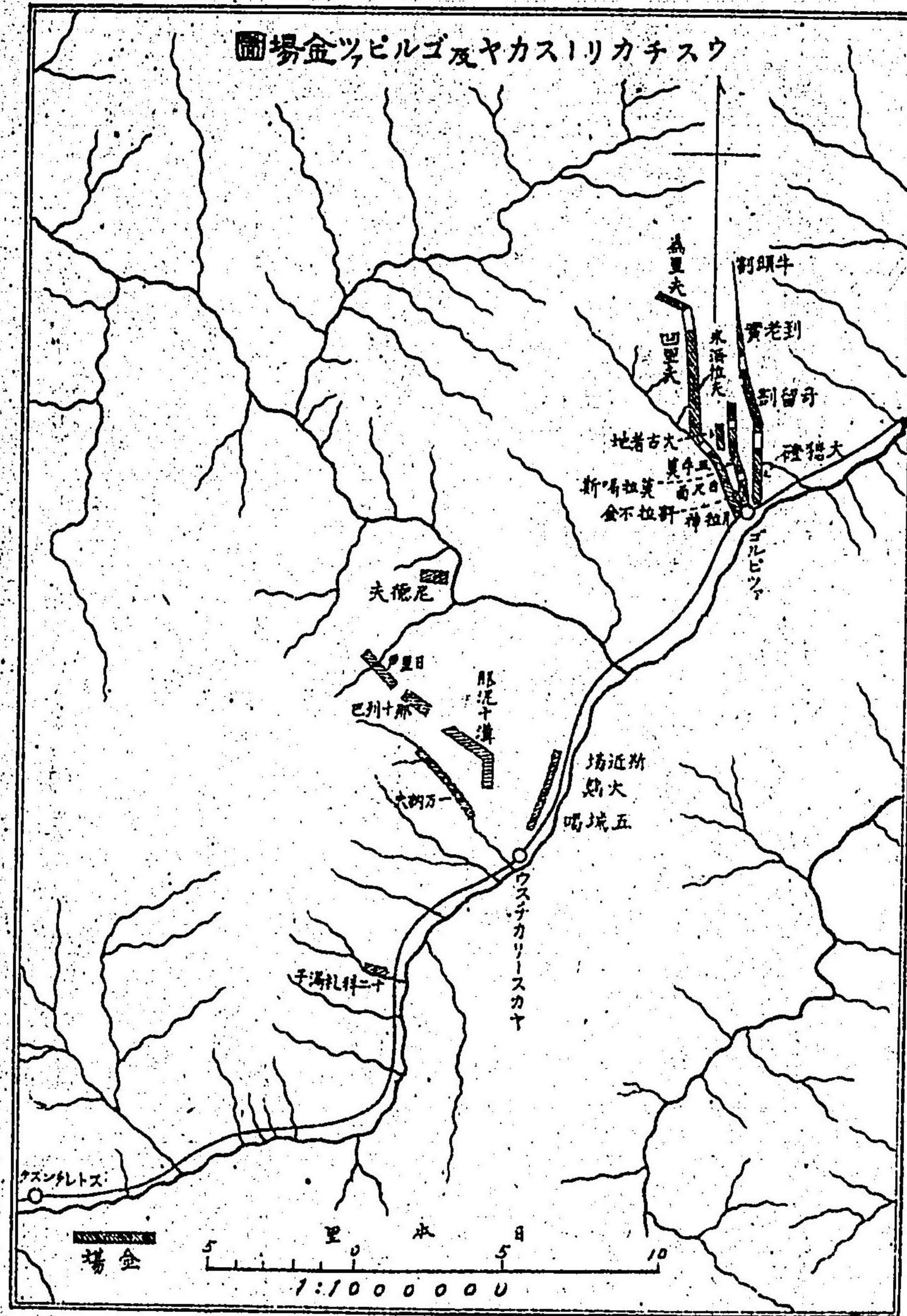
黃河金場圖



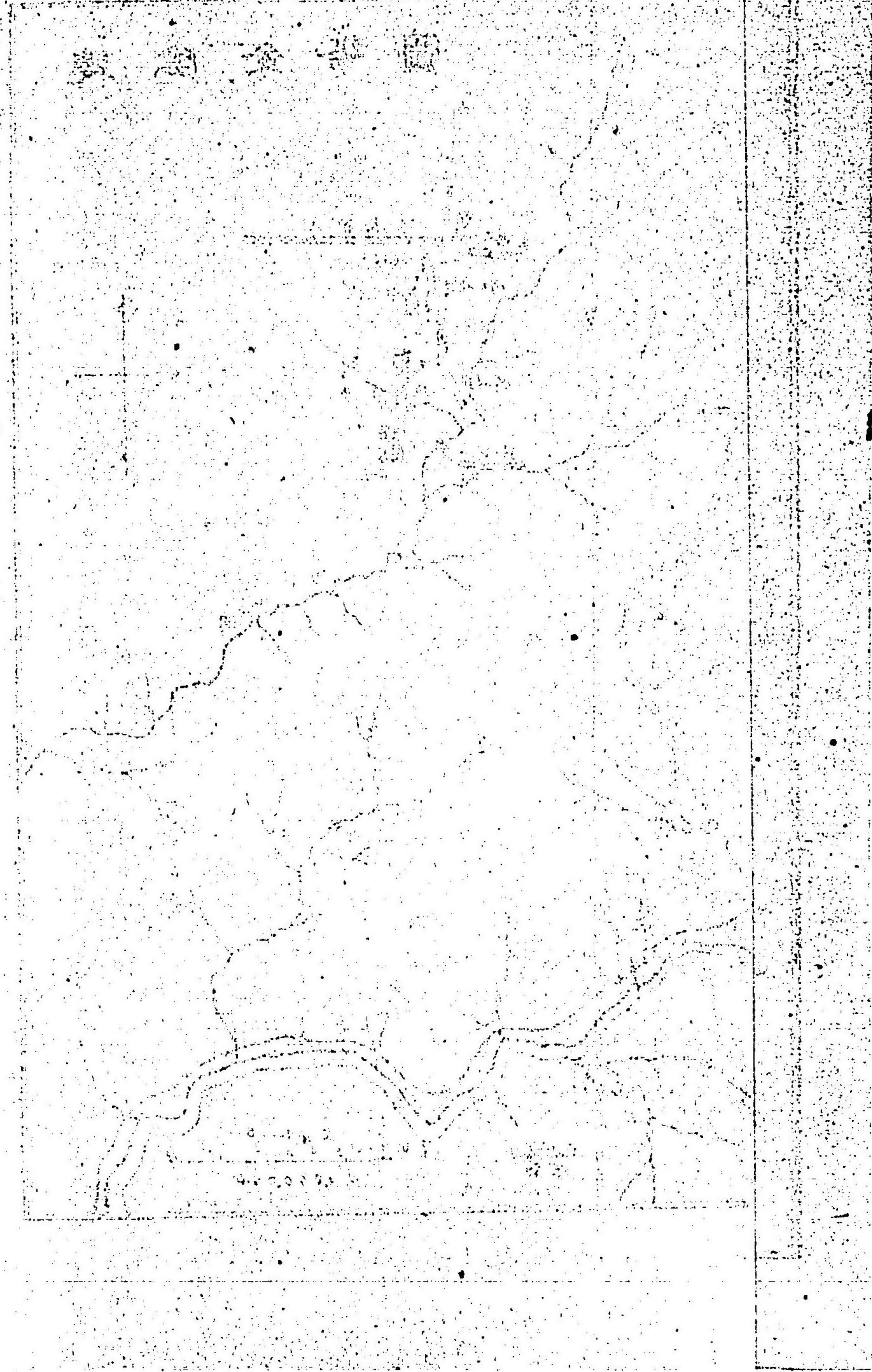
連陰金場圖

第九表

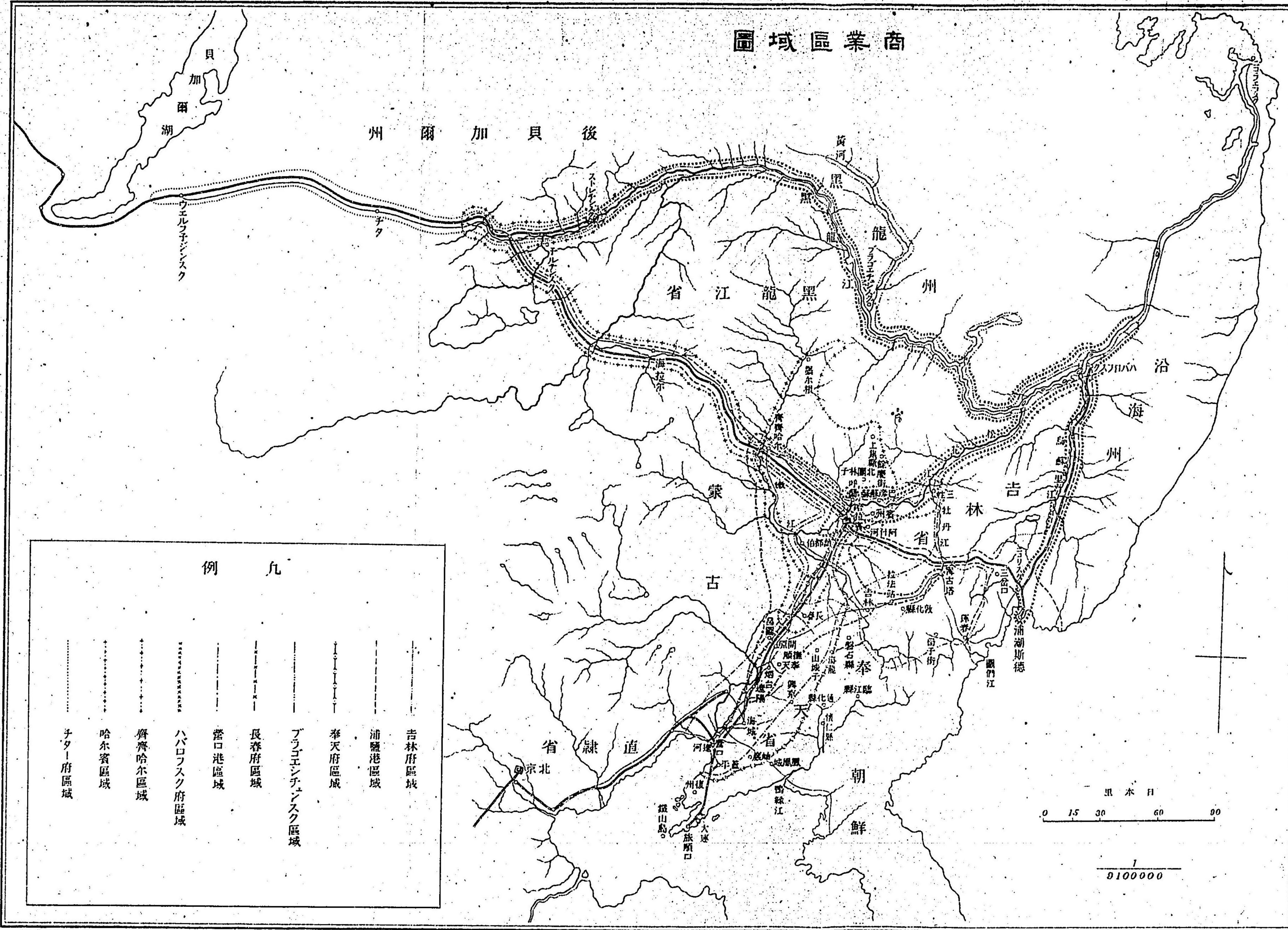




第十表

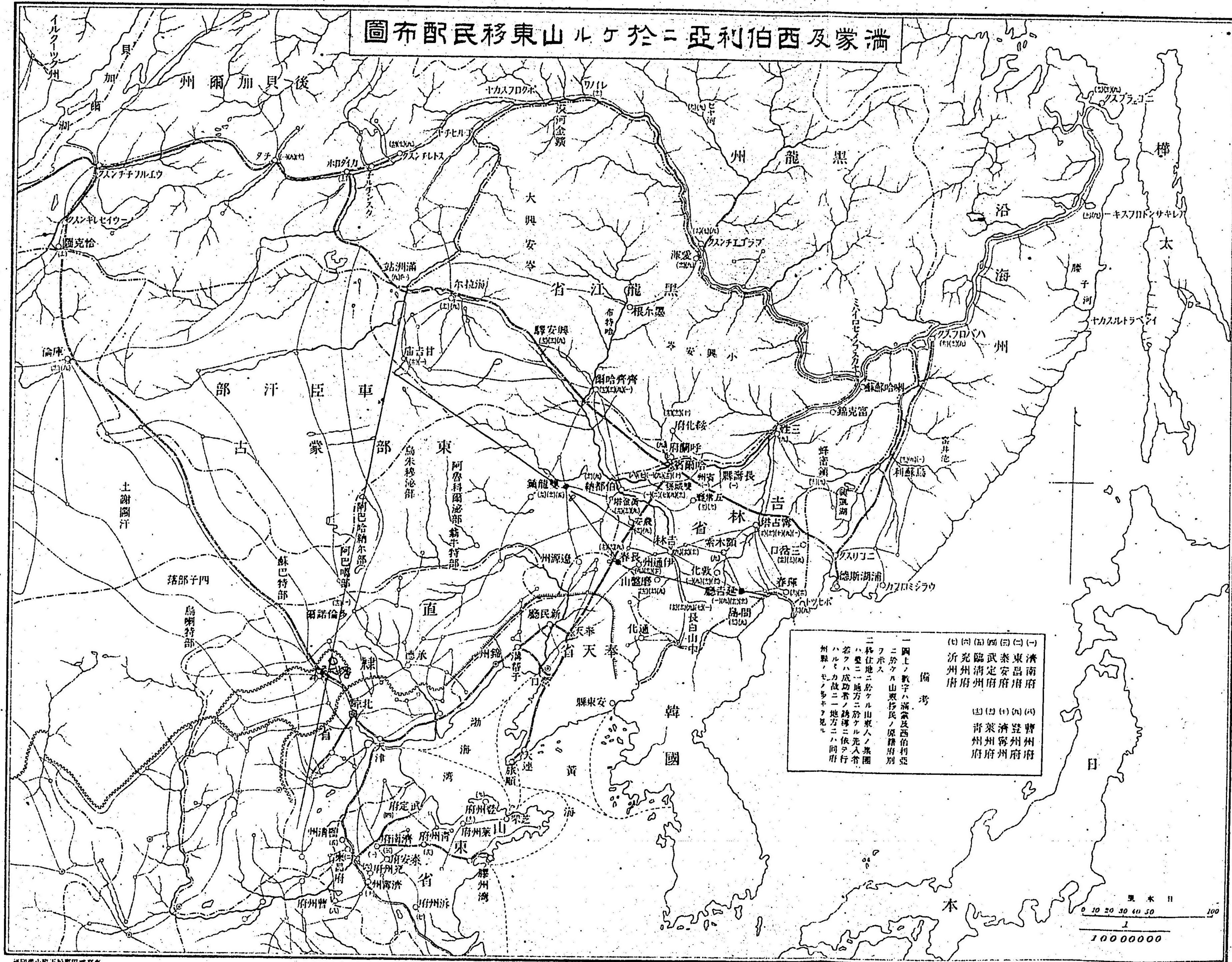


商業區域圖



行印版小町下松製田繪京東

圖布配民移東山ルケ於ニ亞利伯西及蒙滿



備考

(一) 同上ノ數字ハ滿蒙及西伯利亞ニ於テハ山東移民ノ原籍別ヲ示ス

(二) 移住地ニ於ケル山東人ノ集團ハ要ニ一地方ニ於ケルハ依テハハルカ力故ニ一地方ニハ同府州縣ノモノ多キヲ見ル

(三) 山東省府州縣

(四) 山東省府州縣

(五) 山東省府州縣

(六) 山東省府州縣

(七) 山東省府州縣

(八) 山東省府州縣

(九) 山東省府州縣

(十) 山東省府州縣

行印業小町下松原田輝京東

明治三十九年八月三十日印刷
明治三十九年九月三日發行

滿洲地誌附圖共全四冊

正價 金五圓五拾錢

著作者 守田利遠

發行者 丸善株式會社
東京市日本橋區通三丁目十四番地
專務取締役

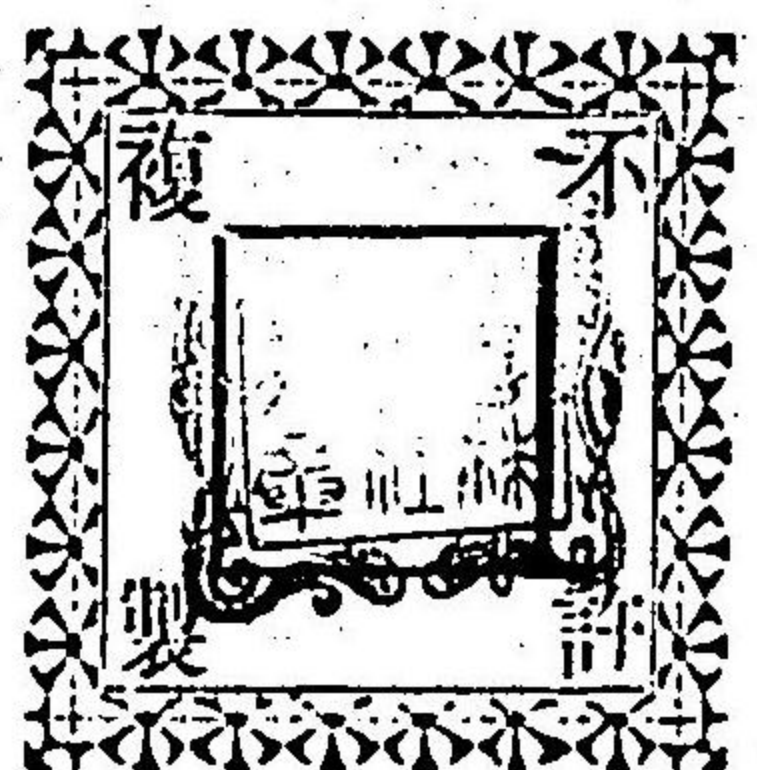
右代表者 小柳津要人

印刷者 野村宗十郎
東京市京橋區築地三丁目十一番地

印刷所 株式會社東亞活版製造所
東京市京橋區築地二丁目十七番地

發行所

東京市日本橋區通三丁目十四番地
丸善株式會社
大阪市東區博勞町四丁目
丸善株式會社支社



18607

新刊

遼東兵站監部編纂

三十八年十一月出版

滿洲要覽

菊判洋裝全壹冊
紙數五百餘頁
正價金貳圓
郵稅金拾五錢

如何にして戦勝の獲得權を有效ならしむべきや？
是れ日本國民全體の研究すべき問題なり而して滿洲要覽は之に解鍵を與ふる最有力の參考書たるべし

法學博士有賀長雄君校
東亞同文會編纂

三十九年四月再版發行

東亞特種條約彙纂

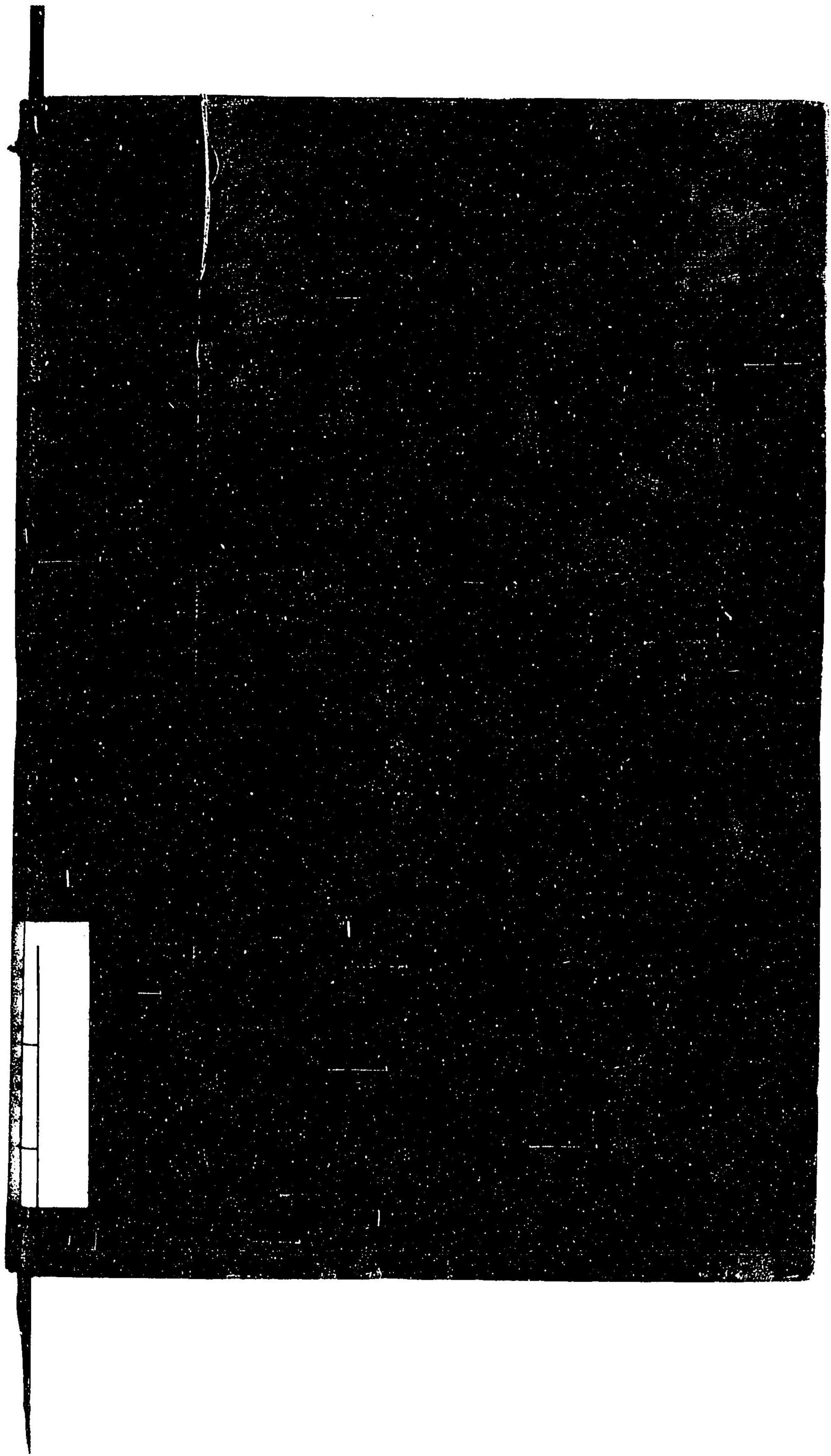
四六倍判洋裝全壹冊
紙數壹千餘頁
正價金參圓五拾錢
郵稅金貳拾錢

日露戰役は東亞の大事件にして其結果は亦實に東亞の大局を一定し世界外交史上一新時代を劃したり即ち之に關聯する有らゆる條約及外交文書を網羅すると共に初版に漏れたる舊條約及新條約を増補したる本書は日本國民が常に架上に備へて反覆攻究すべきものにあらずや

東京 大阪

丸善株式會社

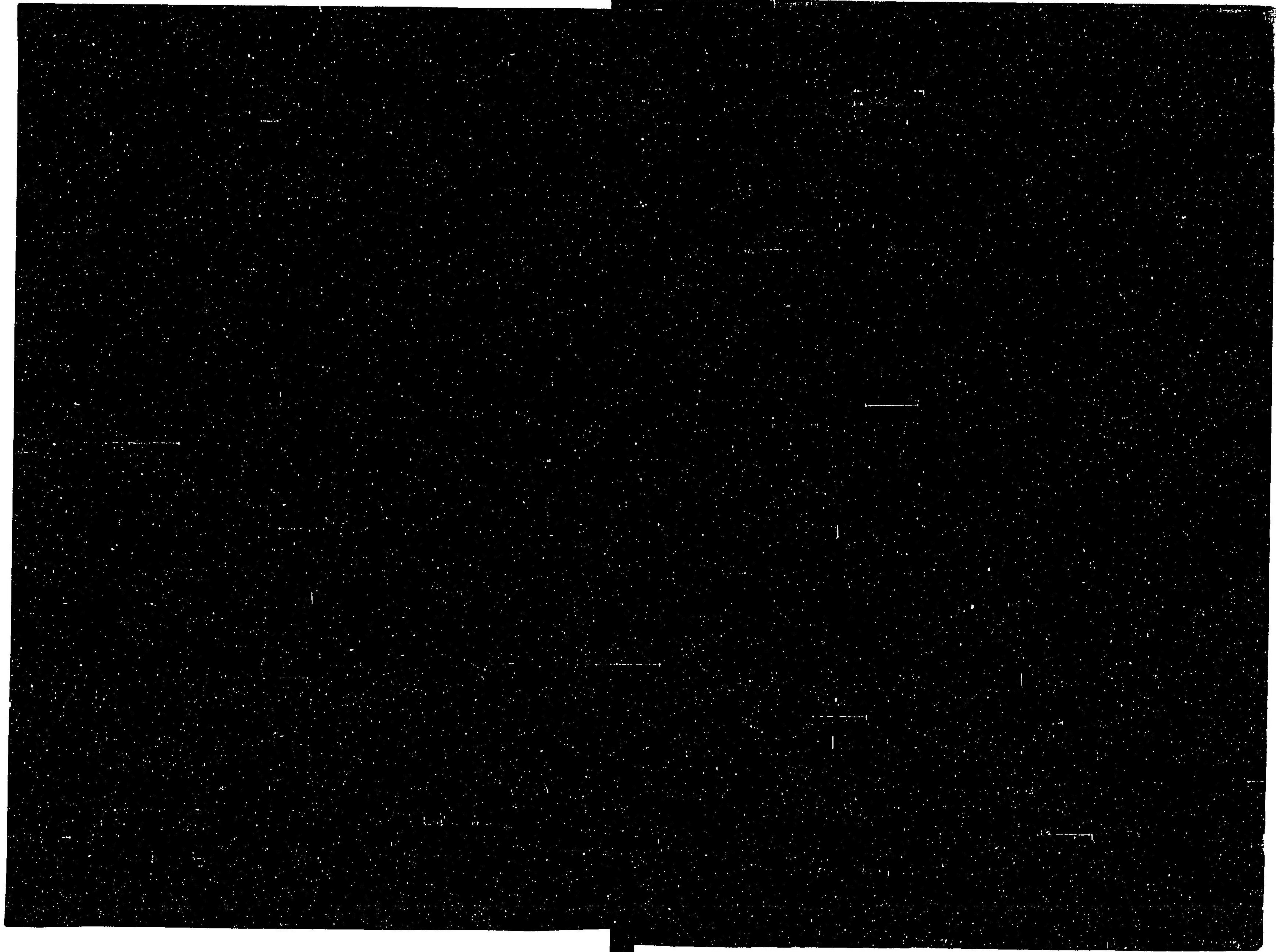
CL
NO. 760



292.25

M852m

[Blank label]



Handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page, located on the right edge. The text is faint and difficult to read, but appears to be a vertical line of characters.